

大津市障害者自立支援協議会 2022 年度活動報告

1. 定例会・運営委員会

① 定例会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

開催状況	<p>◎7月16日に集合とオンラインで開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 相談支援からの報告：オアシスの郷・やすらぎからの精神障害の相談支援の状況報告。 2, プロジェクト報告：文化プロジェクトに関する意見交換。 3, 三次機関の役割紹介と三次機関から見た大津圏域の状況報告：滋賀県重心ケアマネの紹介と医療的ケア児及び重症心身障害児の実態報告。 4, 関係機関の紹介：北大津高等養護学校の紹介。 5, 情報提供。 <p>◎11月19日にオンラインと会場にて開催する。43人参加。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 大津市地域福祉計画の策定に関して福祉政策課より報告及び地域福祉における障害分野の在り方に関して意見交換。 2, 福祉の魅力プロジェクトアンケート報告会の報告。 3, 三次機関の役割紹介と三次機関から見た大津圏域の状況報告（滋賀県発達障害者支援センターからの報告） 4, 情報提供 <p>◎3月25日にオンラインと集合で開催する。39名参加。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 自立支援協議会及び大津市保健所からコロナの感染対策に関する報告。 2, 障害福祉課より次年度の障害福祉課の予算及び相談支援体制に関する報告。 3, 三次機関の役割紹介と三次機関から見た大津圏域の状況報告：滋賀県地域定着支援センターからの報告。 4, 大津市障害者虐待防止センターからの報告 5, 研修会「SOSを見つけ出すために、支援者ができることは何か」の報告
------	--

② 運営委員会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

開催状況	<p>◎4月16日にオンライン会議で開催する。18人参加。</p> <p>今年度の自立支援協議会の事業計画について話し合う。</p> <p>◎8月20日にオンラインで開催する。15名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部会やプロジェクト会議の進捗状況と意見交換をする。 ・コロナ感染に関する協議を行う。 <p>◎9月17日にオンライン会議を開催。18人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所の開設に関する障害福祉施設の協力、藤樹会のオアシスとやすらぎの相談支援事業所の再編、各プロジェクトの立ち上げに関する報告を行う。
------	---

<p>◎10月22日にオンライン会議で開催する。16人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域の相談支援体制に関して、部会及びプロジェクト・11月の定例会について話し合う。 <p>◎12月17日にオンライン会議で開催する。17人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の今後に関して、今後の自立支援協議会の体制に関して話し合う。 ・災害対策に関する研修会の開催、定例会に関して、進路調整に関して、話し合う。 ・部会報告、プロジェクト報告、大津市の資源整備に関する報告。 <p>◎2月18日にオンライン会議で開催する。14人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染対策について話し合う。 ・地域生活拠点の次年度の在り方について意見交換を行う。 ・障害福祉課より次年度以降の相談支援の体制について報告。 ・定例会に関して・部会報告・プロジェクト会議について話し合う。 ・災害対策に関して・大津市内の資源に関して・次年度の運営委員会に関して話し合う。

2. 部会報告

① 相談支援連絡会

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日の午後開催 ・行政からの伝達事項の共有、各相談支援事業所からの運営及びケースの報告及び課題に関する意見交換を行う。 ・偶数月は計画相談に係る事業所が集まり、奇数月は市町村相談支援事業所及び専門相談支援機関が集まり協議。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村相談支援事業所、指定特定相談支援事業所、大津市発達障害者支援センターかほん、おおつ働き暮らし応援センター、大津市聴覚障害者相談員、大津市障害者虐待防止センター、障害福祉課、
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援機能強化事業所：4か所 ・市町村相談支援事業所：15か所 ・指定特定相談支援事業所：19か所 ・障害児相談支援事業所：18か所 ・地域相談支援事業所：5か所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月13日にオンライン会議で開催。計画相談事業所の相談員23人参加。障害福祉課からの報告と各相談支援事業所の現状と課題の報告を行う。報酬改定に伴う確認。 （1）計画相談の加算について （2）放課後等デイサービス利用に伴う判定に関して <p>計画相談の新規及び移行利用者の調整に関して話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日にオンライン会議を開催。委託相談支援及び専門相談支援事業所の相談員20人参加。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケ

	<p>ースの報告を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月8日にオンライン会議で開催。計画相談の事業所の相談員23人参加。障害福祉課からの報告と各相談支援事業所の現状と課題の報告を行う。相談これから2021での議論に関して話し合う。計画相談の新規及び移行利用者の調整状況について報告。 ・7月13日に集合とオンライン会議を開催。16人参加。障害福祉課と自立支援協（日中一時支援の決定について）より報告。各事業所の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・8月17日にオンライン会議で開催。20人参加。障害福祉課からの報告と各相談支援事業所の現状と課題の報告を行う。自立支援協より資源整備情報提供の報告を行う。移動支援見直しについて話し合う。計画相談の新規及び移行利用者の調整状況について報告。 ・9月14日に集合とオンライン会議で開催。18人参加。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・10月12日にオンライン会議で開催。20人参加（委託＋指定特定）。障害福祉課からの報告と各相談支援事業所の現状と課題の報告を行う。自立支援協より資源整備情報提供の報告を行う。計画相談の新規及び移行利用者の調整状況について報告。 ・11月9日に集合会議を開催。15人参加。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・12月14日に集合会議で開催。21人参加（委託＋指定特定）。自立支援協より資源整備情報提供の報告、訪問型生活介護の取組み、災害に関する研修の取組みについて報告を行う。また、計画相談の新規及び移行利用者の調整状況について報告。 ・1月11日にオンラインと集合会議を開催。21人参加。委託＋専門＋社協。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・2月8日に集合とオンライン会議で開催。21人参加（委託＋指定特定）。自立支援協より資源整備情報提供の報告、研修の取組みについて報告を行う。また、コロナ感染の情報共有をする。2022年からの相談支援連絡会の在り方について話し合う。 ・3月8日にオンライン開催。17名参加。委託＋専門。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。
<p>課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフプランを10年で解消するためには計画相談担当相談支援専門員を10年間で45人増員することが必要 ・脆弱な体制（相談支援専門員の人数、経験年数）の事業所への大津圏域としての人材育成支援の必要性 ・主任相談支援専門員（相談支援機能強化事業所）による大津市障害者自立支援協議会の運営参画と他事業所へのスーパーバイズの強化・要保護児童や要支援児童の

大津市障害者自立支援協議会

	<p>支援に関して児童福祉分野や学校との連携体制が十分にできておらず、相談員やサービス提供事業所が困るケースがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害分野以外の関係機関からは、障害分野の相談支援体制の仕組みや窓口が高齢分野と比較して分かりにくいという声が上がっている。
--	--

② 大津市ヘルプ事業所協議会

部会長：寺田 俊介（ヘルパーステーションかがやき）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津市内でサービスを提供している居宅介護事業所が参加。自立支援協議会ができる前から、制度改善とヘルパーのスキルアップを目的として自主的に活動。 ・ 大津市内の事業所の現状と課題を共有 ・ 移動支援の事業所の経営の安定と新規参入を促すための単価の見直し等の提言を毎年行っている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津市内をサービス提供地域とする居宅介護事業所（常時 15 事業所程度が参加）
資源状況	<p>* 大津市内の事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護 66 箇所 ・ 重度訪問介護 59 箇所 ・ 行動援護 23 箇所 ・ 同行援護 25 箇所 ・ 移動支援 71 箇所（市外事業所含む）
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月20日オンライン開催、13人参加。各事業所の現状報告と移動支援の見直しに関する意見交換をする。 ・ 7月15日オンライン開催、16人参加。移動支援の見直しに関する各事業所の現状報告と意見交換をする。 ・ 9月16日オンライン開催、14人参加。各事業所の現状報告と移動支援の見直しに関して・行動援護に関しての意見交換をする。 ・ 11月18日オンライン開催、12人参加。各事業所の現状報告と移動支援の見直しに関する意見交換をする。また、虐待防止に関する研修会の情報共有を行う。 ・ 1月20日オンライン開催、13人参加。各事業所の現状報告と移動支援の見直しに関する意見交換をする。コロナ感染対策に関してと、虐待防止に向けた取り組みに関して話し合う。圏域情報提供と次年度のヘルプ協の部会長・副部会長に関して話し合う。 ・ 3月3日オンライン開催する。12名参加。各事業所の状況共有と、次年度の部会取り組みに関して意見交換をする。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルパーの確保とスキルアップ ・ 居宅介護計画の質の向上 ・ 行動援護の従事者の確保と支援の質の向上、 ・ 重度訪問介護の拡充

③ グループホーム管理者会議

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 か月に 1 回、奇数月の第 2 木曜日に開催 ・ 市内のグループホーム事業所の責任者が参加 ・ 以下のことを議論する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 事業所間の情報共有 ② 入居者支援に対する職員の課題 ③ ホーム運営についての課題（消防法など）
参加者	おおつ福祉会、グリーンハウス、しが夢翔会、夢の木、ノエル福祉会、ステップハウスおりぶ、美輪湖の家大津、琵琶湖病院、わおん、やすら樹の森、グリツィーニ、るみえ、青山寮、みどりの家、ぽのハウス、らぼーる梅林、りんごの木、ケアホームともる、和楽、はびねす瀬田、伊香立の杜、障害福祉課
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム：58 か所 ・ 2023 年度に 3 か所開所予定。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 13 日オンライン開催、13 人参加。GH 入居中の 65 歳以上のワクチン接種についてと、高齢者分野との連携についての話し合いをする。また各事業所の情報共有を行う。 ・ 7 月 8 日オンライン開催、15 人参加。食事について情報共有をし、夜勤休憩について話し合う。また、各ホームからの報告と高齢者分野との連携について話し合う。 ・ 9 月 9 日オンライン開催、12 人参加。虐待防止の更なる推進について話し合う。また、8 月の大雨に避難をした GH からの報告。 ・ 11 月 11 日集合開催、21 人参加。社会保障審議会 障害者の居住支援についての情報共有と、各ホームからの報告について話し合う。 ・ 1 月 13 日に集合とオンライン開催、20 人参加。各ホームからの報告を行う。また、身体拘束について虐待防止センターよりレクチャーをうける。その後、意見交換と感想を共有する。 ・ 3 月 10 日にオンライン開催する。14 名参加。各ホームからの報告を行う。また、次年度取り組みたい事や受けた研修について話し合う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の高齢化に伴う、医療面の対応や日中支援の対応に関して、小規模な職員集団の中で関係機関と連携しながら、どう支援していくか？ ・ 支援者の高齢化に伴う新たな支援者の確保と育成の課題。小集団かつ一人職場に近い環境で、支援者の支援の統一や虐待防止及び権利侵害防止に向けた取り組みをどう行っていくか？ ・ 現存のホームが建築法の関係で、建て替えか転居が求められている。

④ 地域生活支援拠点運営会議

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 か月に 1 回程度開催 ・ 地域生活支援拠点事業の面的整備に関して、各事業所の緊急時対応等に関する現状と課題の共有と緊急時対応や住まいの場に関する地域資源の改善開発の検討を行う。
参加者	ステップ広場ガル、伊香立の杜ショートステイ、むくの木、生活支援センター

	みゆう、ひびき、そうだんオフィス、障害福祉課
資源状況	<p>地域生活支援拠点登録事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所：生活支援センター、みゆう、そうだんオフィス ・短期入所事業所：ステップ広場ガル、伊香立の杜、むくの木、なかまホテル
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月21日にオンラインで開催する。13名参加。各事業所の近況と多機能拠点プロジェクトの進捗報告をする。また、今年度の委員会の在り方の検討を行う。 ・8月18日に開催予定であったが、10月27日に延期する。 ・10月27日にオンライン開催する。12名参加。県自立支援協議会自立支援協議会相談支援ネットワーク部会の報告と地域生活支援拠点にかかる運営規程の変更の報告を行う。また、コロナ感染の影響も踏まえた各事業所の緊急時対応等に関する現状と課題について話し合う。住まいの場の調整と資源整備に関しての報告を行う。 ・12月22日にオンラインで開催する。11名参加。各事業所の地域生活拠点における支援状況の共有。相談支援事業所からの地域生活拠点にかかる事例報告と大津圏域における入所施設からの地域移行の在り方に関して意見交換を行う。 ・2月2日にオンラインで開催する。7名参加。大津圏域のコロナウィルス感染状況に関しての情報と、各事業所の地域生活拠点における支援状況を共有する。施設入所からの地域移行に関して県ネットワークアドバイザー事業の報告と意見交換を行う。また、取りまとめ会と資源整備に関してと、地域生活拠点に関する今後の進め方を話す。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度から3つのワーキングに分けて開催。 ①知的分野に関するワーキング 知的障害の方のセーフティーネットの対応の在り方やしが夢翔会の多機能型拠点整備にむけた検討を行う。 ②知的障害者地域移行に関するワーキング 令和4年度から、県が滋賀県ネットワークアドバイザー事業（知的障害）の業務に入所施設からの地域移行の取り組みを追加することに伴い、同事業を受託しているびわこ学園（生活支援センター）、ステップ広場ガル、相談支援事業所が連携して地域移行に向けた個別具体的な検討を行う（意思決定支援を意識する）。この協議のワーキングを新たに設置し、事例検討や体制整備の検討を行う。 ③精神分野に関するワーキング 新たに精神分野のワーキングを設置し、現在、藤樹会と湖の子会とで協議を始めている精神障害分野の地域生活支援拠点の議論を引き継ぎ、検討を進める。併せて、地域で生活するための居住支援として、居住サポート事業に関する評価等も行う。

⑤ ショートステイ連絡会

部会長：柴田 雄一（伊香立の杜ショートステイ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月第2水曜日の午前に場所は持ち回りで開催 ・事業所間での情報共有を行う。
------	--

大津市障害者自立支援協議会

参加者	むくの木・ステップ広場ガル・伊香立の杜ショートステイ・びわこ学園医療福祉センター草津・ぼのハウス・ラポール梅林
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内8ヶ所（ステップ広場ガル、伊香立の杜、むくの木、ぼのハウス、らぼーる秋葉台、るみえ、真野の家歩々、なかまホテル） ・中学生以上の知的障害を主に対象にしている事業所しかない。そのため、児童は近江学園を利用。身障や精神の方が利用できるショートステイは市内にはなく、他圏域のショートを利用。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月12日オンライン開催、5人参加。コロナウィルス感染対策と各事業所の状況について意見交換する。 ・7月14日オンライン開催、5人参加。各事業所の状況について意見交換する。 ・9月8日オンライン開催、8人参加。コロナウィルス感染対策と各事業所の状況について意見交換する。 ・11月10日オンライン開催、11人参加。大津市障害者プラン改訂のためのアンケート調査結果報告と身体拘束について鳥取県のパンフレットを共有する。 ・1月12日に共生モールで開催、8人参加。びわこ共生モールの見学。各事業所の情報交換。ショートステイ事業所における虐待防止に関して意見交換をする。 ・3月9日にオンライン開催する。6名参加。各事業所の情報交換を行う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数や契約者が増加してきている。計画相談によるニーズの掘り起こしによって増えてきている？利用を受けきれない状況になっている。 ・家族状況がかなり厳しい状況の方の利用が増えてきている。利用者も親とも高齢なケースも多く、ショートだけでなく将来の住まいの場の確保の検討が必要。 ・常時マンツーマン対応が必要な方のショートステイでの連泊での受け止めが単独の事業所だけでは人員体制的に困難。 ・長期に短期入所を利用されている方が増えてきている。入所、グループホームへの移行をどうしていくかが課題

⑥ 就労支援部会

部会長：平山 真司（多機能事業所さくら）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就労系施設全体に関与する部会として、それぞれの課題に合った内容で開催する。また、B型事業所、移行支援事業所の職員等で事務局会議を開催し、部会の内容について検討する。就労支援に関して、情報共有、意見交換することで、職員のボトムアップにつなげていく。 ・奇数月の第4木曜日夕方に開催(2か月に1回)
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、北大津高等養護学校、近江学園、信楽学園、大津市津市内就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、生活訓練事業所、大津市ハローワーク

大津市障害者自立支援協議会

資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつ働き暮らし応援センター・生活訓練：5箇所・就労移行支援：13か所 ・就労定着支援：4か所・就労継続支援A型：6か所・就労継続支援B型：34か所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月22日にオンラインと集合会議で事務局会議を開催する。8名参加。今年度の部会運営の在り方に関して協議する。 ・5月27日オンライン開催、21人参加。今年度の部会運営に関して話し合う。また、アンケート結果からみる大津の就労支援事業所の印象に関しての意見交換をする。 ・7月19日オンライン開催、24人参加。各学校より進路に関する報告と通所事業所からの報告をする。また、進路調整に関する意見交換をする。 ・9月16日オンライン開催、24人参加。『適切な支援について』大津市より虐待防止に関する更なる推進について説明、大津市障害者虐待防止センターより就労支援事業所に見られる虐待の傾向とは？グループワークをする。 ・11月25日オンライン開催、14人参加。今年度の部会運営に関して話し合う。また、アンケート結果からみる大津の就労支援事業所の印象に関しての意見交換をする。 ・就労支援部会事務局会議を12月23日に集合で開催する。10名参加。大津圏域における就労アセスメントの在り方に関して意見交換を行う。 ・1月27日オンライン開催、20人参加。今年度の進路調整の結果と次年度以降の状況の共有をする。また、就労アセスメントの検討の進捗状況の共有を行う。 ・就労支援部会事務局会議を2月24日にオンラインで開催する。7名参加。就労アセスメントの在り方に関して意見交換を行う。 ・3月24日オンライン開催する。11名参加。今年度の進路調整の結果と次年度以降の状況共有と、就労アセスメントの検討の進捗状況の確認を行う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃(賃金)の一層の向上とそのため計画、並びに支援の質の向上 ・就労継続支援から一般就労への移行に向けた取り組み ・就労継続支援B型の今後の在り方に関する検討 ・大津ならではの就労移行支援を活用した就労支援の展開 ・障害福祉計画では令和5年度には以下の目標を設定。 ①就労施設から一般就労の移行 24人 ②就労移行支援の利用 116人 ③就労移行支援からの就労移行率 4割 ④就労定着支援1年後定着率：8割以上

⑦ おおつならではの就労移行支援

代表：白杉 滋朗（におの浜福祉協会）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月～3ヶ月に1回程度の割合で開催。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、れもん会社、みずほ、多機能事業所さくら、らくわくれおカレッジ、スコラ、きずな
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月22日にオンラインで開催する。15名参加。各事業所からの報告と今夏に行われ

	<p>る報告会の打ち合わせをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月24日にオンライン開催する。11名参加。各事業所からの報告と大津ならではの就労移行支援プロジェクトの就労移行支援会議の報告会の打ち合わせ。 ・10月28日にオンライン開催する。13名参加。各事業所からの報告と大津ならではの就労移行支援の報告会の振り返りと、今後の展開に関して話し合う。大津ならではの就労移行支援の2021年度以降の進路希望状況の報告を行う。 ・2月24日にオンラインで開催する。12名参加。ならではの事業所からの報告と今後の展開に関して話し合う。また、2021年度以降の進路希望状況の確認をする。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつならではの就労移行支援事業の周知

⑧ 日中支援部会

部会長：浅田 悠（おおぎの里）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回開催。偶数月の第4月曜日の16:00～ <p>①目的と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の生活介護事業所のネットワークの構築と職員のスキルアップと支援の質の向上に向けた取り組み ・生活介護事業所利用希望者の把握とそれぞれの事業所の役割分担の検討 ・生活介護事業所の運営や活動における現状と課題の共有と課題解決に向けた取り組み <p>②取り組み内容案</p> <p>*取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津市進路調整会議の生活介護部分と日中支援部会を合同で年2回開催。卒業生とそれ以外の方も含めた生活介護の利用希望の把握と調整の検討。 ・生活介護の現場職員を対象に活動や支援のスキルアップや事業所間のネットワーク構築を目指して各事業所からの実践報告と意見交換会の開催。年3回予定
参加者	<p>しない生活介護事業所・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・障害福祉課</p>
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> *市内の生活介護事業所27か所 *今後の生活介護の整備予定 ・近江笑生会がラベンダーを2022年春に開所予定
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月26日にオンラインで開催する。15名参加。今年度の運営方針について、及び、各事業所の報告を行う。 ・6月28日にオンライン開催する。20名参加。実践報告会（木輝・さくらはうす）を行う。また、部会の目的と運営方法を話し合う。 ・7月26日にオンライン開催する。20人参加。各学校より進路に関する報告と質疑応答をする。また、通所事業所から現状と進路受け入れに関しての報告と、ひまわりはうすにおける訪問の取り組みに関しての報告をする。通所事業所アンケート結果の共有と意見交換をする。

大津市障害者自立支援協議会

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月23日にオンライン開催する。16名参加。実践報告会（おおつ福祉会・夢翔会）を行う。また、部会の目的と運営方法を話し合う。 ・ 10月25日にオンライン開催する。15名参加。実践報告会（びわこ学園における本人理解の手法ー基本情報～アセスメント：さくらほうす・久保多信幸氏）を行う。また、生活介護で支援をするにあたってのアセスメントに関して話し合う。 ・ 12月20日にオンラインで開催する。20名参加。生活介護における虐待防止の取組みに関して、大津市障害者虐待防止センターより報告、各事業所における虐待防止の取組みの情報交換とグループワークを行う。 ・ 2月28日に現場向け実践報告会と意見交換をオンラインで開催する。12名参加。（報告者1：支援センター作業療法士・加納雪絵氏/報告者2：ひまわりほうす・高雄順子氏）
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度知的及び行動障害を呈する方の進路先の確保が大きな課題になっている。これから4年間で特別支援学校に通う学生で卒業後70人近い利用希望者がいる。 ・ 利用者の高齢化に伴う、就労支援事業所からの移行のニーズが増えている。 ・ 生活介護事業所が2か所新規で整備される。定員に空きのある事業所もあるが、行動障害の方の受け入れが可能な事業所は職員体制や環境的に少ない状況。 ・ 生活介護に通所しているが事業所の体制上で希望日数通えない人や本人の状況変化やミスマッチで通えなくなり在宅になっている方もいる。

⑨ 子ども部会・放課後事業所連絡会

部会長：増田 裕介（放課後等デイサービスゆにこ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども部会の中の放課後事業所連絡会として位置づけて年6回開催予定。管理者向け（情報共有）3回、支援者向け（研修）3回実施予定。 ・ 大津市でサービスを提供している放課後等デイサービス、児童を対象にした日中一時支援事業所が参加。 ・ 事業所同士の近況報告および制度や支援方法等に関する情報交換会や研修会を開催。 ・ 「支援の質の向上」を目指して以下のことを大切にしている ・ (1)学校との連携 ・ (2)地域全体の課題の中での自分たちの役割 ・ (3)人材育成のための研修（事例検討、交流研修会）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津市をサービス提供地域とする放課後等デイサービス事業所、児童を対象にした日中一時支援事業所
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等デイサービス：38か所、日中一時支援事業所：42か所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月14日オンライン開催、23人参加。障害福祉課よりサポート加算等についての説明を受ける。また、管理者の情報共有をする。また、各機関より情報共有と意見交換をする。事例検討を行う。 ・ 7月9日オンライン開催、23人参加。学校卒業後の利用者さんの姿についての話を聞き、グループワークを行う。障害福祉課よりサポート加算等についての説明を受ける。また、管理者の情報共有、各機関の情報共有と意見交換をする。事例検討を行う。 ・ 8月23日にオンライン開催する。16名参加。実践報告会（おおつ福祉会・夢翔会）を

	<p>行う。また、部会の目的と運営方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月10日にオンライン開催する。16人参加。虐待防止について、義務化される内容の説明と共有。また、グループワークとして職員セルフチェックを使った研修を行う。 ・11月12日オンライン開催、36人参加。身体拘束の適正化についての概要と研修についての情報共有をする。また、記録の取り方、委員会の設置について話し合う。 ・1月14日オンライン開催、28人参加。1, 何が「不適切な支援か」2, 「不適切な支援」を減らすにはという内容でグループワークを行う。 ・2月25日にオンラインで開催する。15名参加。来年度の体制、自立支援協の存在意義、必要性の確認をする。運用方法を来年度を通して、確立し、再来年度の形を作る。また、BCPについて話し合う。
--	--

⑩ 子ども部会・就学前グループ（乳幼児部会）

部会長：河村 史恵（やまびこ園・やまびこ教室）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催 ・子ども部会の中の就学前グループとして位置づけ年3回開催 ・乳幼児期の制度やサービス利用にあたっての課題の整理 ・乳幼児期の制度、施策の見直し・検討
参加者	健康推進課・子ども発達相談センター・やまびこ園（教室）・わくわく・のびのび子育て総合支援センター・幼児政策課・保育幼稚園課・やまびこ相談支援事業所、障害福祉課・児童クラブ課・学校教育課・特別教育支援室（西田）
資源状況	<p>児童発達支援事業所：8か所（民間5か所）</p> <p>居宅型児童発達支援事業所：1か所</p> <p>保育所等訪問支援事業：2か所</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月7日オンライン開催、5人参加。今年度取り組む内容と年間スケジュールについての確認をする。また、そだちあい冊子の報告を行う。 ・7月19日オンライン開催、12人参加。今年度取の組織と会議の日程・内容等の報告をする。また、各機関や事業所の情報共有。そだちあい冊子の報告を行う。 ・8月23日にオンライン開催、16名参加。実践報告会（おおつ福祉会・夢翔会）を行う。また、部会の目的と運営方法を話し合う。 ・12月17日集合で開催する。9名参加。就学前、家族への支援の課題共有と事例検討によるピアビジョン。 ・3月18日に就学前グループを集合で開催、12名参加。各機関や事業所の情報共有と、事例報告・検討・悩んでいるケース等のピアビジョンを行う。また、子ども部会で実施しているアンケートの中間報告を行う。
検討課題	

⑪ 子ども部会 学齢期トライアングルグループ

代表 高原（特別支援教育室）

部会等	・年2回開催。
-----	---------

	<ul style="list-style-type: none"> 子ども部会の中のトライアングルグループとして「連携を深める場」として教育・福祉・家庭の連携を深め、課題共有を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育課、特別支援教育室、子ども発達相談センター 放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所、障害福祉課、養護学校等 大特連代表（小・中）、子ども家庭相談室
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> 6月29日にオンライン開催する。15名参加。「福祉」「学校」「家族」の連携を深める、というテーマで話し合う。 8月23日にオンライン開催する。16名参加。実践報告会（おおつ福祉会・夢翔会）を行う。また、部会の目的と運営方法を話し合う。 11月18日オンライン開催、13人参加。「学齢期の相談窓口について」アンケート実施の案内配布。また、各機関、学校、事業所での連携の課題について話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> 教育と福祉との連携強化に向けた取り組み ライフステージで切れ目ができない支援体制の整備

⑫ 精神福祉部会

部会長：西川 健一（おおつ働き暮らし応援センター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1回、偶数月の第2金曜日の午後に開催 部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、保健所、障害福祉課、オアシスの郷、事務局。 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに関する検討を実施。各機関の取り組みの紹介や重点課題の検討を行う。
参加者	<p>ほわいとクラブ・花きりん・ぽっとらっく・若鮎の家・蓬菜の家・夢の木・ぴあ☆らぼ・訪問看護ステーションひまり・琵琶湖病院・滋賀里病院・瀬田川病院・湖南クリニック・精神医療福祉センター・障害福祉課・大津市保健所・オアシスの郷・やすらぎ・おおつ働き暮らし応援センター・大津若者サポートステーション</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> 4月23日にオンラインで開催する。6名参加。今後の部会の運営に関して協議する。 5月28日オンライン開催、20人参加。各事業所の報告と2月の地域移行の研修を受けての意見交換をする。また、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの検討を行う。 7月9日オンライン開催、20人参加。地域移行におけるグループホームの取り組みと、大津市内の精神分野の事業所取組紹介をする。 9月10日オンライン開催、24人参加。市内事業所紹介と取組み報告（夢の木）を行う。湖の子会より報告。また、受診中断者の支援に関して話し合う。 11月12日オンライン開催、21人参加。すこやか相談所の活動についての報告をする。また、受信中断者の支援に関してと、明和会のホーム整備に関して話し合う。 1月14日オンライン開催、22人参加。事業所の近況報告をする。ピアサポート WISH の取組み報告と、「訪問看護ステーション樺」が第4回市内事業所紹介と取組報告をする。今後の部会運営に関して話し合う。 3月11日オンライン開催する。41名参加。オンラインによる研修。講義「精神障害者

	にも対応した地域包括ケアシステムとは」(講師：井倉 一政先生・岐阜協立大学看護学部(地域・在宅看護学)准教授)。その後、グループワークと発表と振り返りを行う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単身生活をするための賃貸物件の確保も厳しい状況。 ・ 24時間のサポート体制が不十分で地域生活における緊急時対応が課題。 ・ 精神障害の方が利用できるショートステイや宿泊型生活訓練が大津にない。 ・ 精神の方に対応する相談支援事業所が少ない。 ・ 昨年度に精神の地域移行を目的としたグループホームが1か所開所。 ・ 精神障害の方を理解して支援に入ってもらおう事業所の拡充

⑬ 発達障害者支援部会

部会長：小崎 大陽（大津市発達障害者支援センターかほん）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に1回、奇数月の第一金曜日に開催 ・ 今年度は以下の課題を重点的に検討。 ① 発達障害の高校生の個別相談の体制整備に関して ② 青年期中心に関係機関の具体的な「連携」の中身を深めていくための事例の共有・検討
参加者	大津市発達障害者支援センターかほん・大津市子ども発達相談センター・滋賀県発達障害者支援センター・大津市障害福祉課・健康推進課・大津市保健所・大津市子ども家庭相談室・オアシスの郷・やすらぎ・生活支援センター・大津若者サポートステーション・おおつ働き暮らし応援センター・滋賀県引きこもり支援センター・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・北大津養護学校・大津清陵高校通信課程・比叡山高校・放課後等デイサービス「フレンズ」・花きりん・セレンディップ・ハーフステップ
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月7日オンライン開催、21人参加。昨年度の部会の取り組みの振り返りと課題の整理を行う。また、今年度の部会の活動計画の検討をする。 ・ 7月2日オンライン開催、23人参加。大津清陵高校通信部の紹介と事例検討を行う。 ・ 9月3日オンライン開催、20人参加。子ども家庭相談室の紹介と事例検討を行う。また、国・全県・市全体の状況の共有をする。 ・ 11月5日オンライン開催、23人参加。自己紹介と国・全県・市全体の状況の共有をする。また、高校生の個別相談についての現状報告と、教育と福祉の連携の好事例の共有を行う。 ・ 1月7日オンライン開催、23人参加。自己紹介と国・全県・市全体の状況の共有をする。また、大津市保健所及びすこやか相談支援事業所の役割と対応事例の共有を行う。 ・ 3月4日に集合とオンライン開催する。20名参加。今年度の部会の振り返りと来年度の取り組みについて話し合う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から 発達障害者支援センターかほんの委託料を増額。15歳以上の発達障害児者の個別支援を一括して委託。ただし、委託料が十分でなく、支援体制は相談ニーズに対して十分でないため、現在も相談を希望してからの待機時間が2～3ヶ月かかっており、さらなる充実が必要

・学齢期の発達相談の窓口が少ない、対象が限られているため足りない

⑭ 行動障害部会

部会長：三ツ谷 尚（伊香立の杜）

副部会長：村上 貞治（いちばん星）

<p>部会概要</p>	<p>・2ヶ月に1回、奇数月の第4月曜日の夕方に伊香立の杜で開催 ・「大津・湖南行動障害支援ネット」の後を受けて、平成24年にスタート。 ①議論している内容 i - ケース検討と共有 ・参加事業所でのいわゆる困難ケースに関して、アセスメントや支援のアイデアについて相談の場となる。 ・いわゆる行動障害タイプで近江学園に入所する高校生年齢の近江学園ケース、すなわち、今後大津の事業所で連携して受け止めるべきケースについて、見学と共有。 ii - i で用いる部会の共通フェイスシート書式の作成・活用と、その過程での支援観共有・統一 iii - 滋賀県行動障害ネットワークの内容共有とそれを受けた圏域での議論 ・別紙参照：大津地域の「行動障害支援」に関する課題整理票</p>
<p>参加者</p>	<p>・伊香立の杜・大津市発達障害者支援センター夢翔会かほん・ステップ広場ガル ・ぼかぼか・いちばん星・さくらはうす・木輝・和邇の里・唐崎やよい作業所・愛育苑・近江学園・三雲養護学校・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・みゅう・ひびき・生活支援センター・大津市障害者虐待防止センター</p>
<p>開催状況</p>	<p>・5月10日オンライン開催、14人参加。自己紹介とケース関係の情報提供・検討・相談をする。また、支援手順書についての確認をする。情勢・施策・情報提供をする。 ・7月12日オンライン開催、16人参加。事例検討（北大津養護・草津養護・生活支援センター）と、各機関より情報提供・検討・相談をする。 ・9月13日オンライン開催、14人参加。事例検討を行う（北大津養護・草津養護・生活支援センター）。各機関より情報提供及び意見交換を行う。 ・11月8日オンライン開催、18人参加。各機関より情報提供及び意見交換をし、事例検討を行う。また、行動援護・車両移送型支援・福祉有償輸送の状況と、今年度卒業予定児童の進路について話し合う。 ・行動障害部会事務局会議を12月27日にオンラインで開催する。5名参加。次回部会の打ち合わせを行う。 ・1月17日オンライン開催、17人参加。自己紹介とケース関係の情報提供・検討・相談をする。また、今年度卒業予定の児童の進路について情報共有し、来年度以降の卒業生について話し合う。情勢・施策共有と各事業所より相談、報告などを行う。</p>
<p>課題等</p>	<p>・行動障害・重度タイプの人に関係した日中事業所不足の見込み。また、進路調整や既卒者の事業所変更にかかること。 ・行動障害・重度タイプの人に関係した住まいの課題。具体的には、入所施設や行動障害に</p>

	<p>一定対応可能なホームの不足。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動障害支援に関する支援の質向上や人材整備・育成
--	---

⑮ 重症心身障害児者及び医療的ケア児支援協議会

部会長：南方 孝弘（知的障害児者地域生活支援センター）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市において医療機関と福祉機関の連携の充実を図り、医療的ケアの必要な方が地域で安定して暮らすための構築を図るために、福祉と医療の連携を図るための共有と協議の場として運営を行う。 ・重心及び医療的ケア児者のネットワーク構築に向けて、福祉、医療、教育等の関係機関が集まり協議を行うことになるが、毎回すべての関係者が集まり協議となると広範囲になり議論が深まらず、参加者の発言もしにくくなる。そこで全体会といくつかのテーマに分けた分科会と分けて開催を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課、健康推進課、学校教育課、生活支援センター、やまびこ相談支援事業所、大津市内の重症心身障害者が利用している生活介護施設、びわこ学園医療福祉センター草津、びわこ学園重心ケアマネ、訪問看護ステーション、放課後等デイサービス、北大津養護学校及び草津養護学校の進路担当、バクバクの会が参加。
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> ・重心の方が通える生活介護事業所は増えているが、人工呼吸器等を利用されている方が通所できる事業所は限られている。 ・在宅生活においてヘルプやショートステイの利用が医療的ケアがあると提供事業所数が少ないため、希望通りに利用できない。特に、大津市の北部の利用者は遠方の事業所を利用せざるを得ず送迎等の家族の負担が大きい。 ・医療的ケア児が利用できる重心型の放課後等デイサービスが大津市南部に1か所整備されている。しかし、ニーズに足して事業所数が不足している。 ・医療的ケア児の児童発達支援公立の児童発達支援事業所2か所及び小児センター療育部を利用。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月28日にオンラインで開催する。37名参加。(1)協議会の目的と運営方法の確認をする。(2)重心及び医療的ケア児等を取り巻く施策と動向の報告をする。(3)各ワーキングの昨年度の取り組みの報告をする。(4)参加者自己紹介と各機関の報告及び課題提起をする。(5)今後の取り組みについて話し合う。 ・6月9日にオンラインで開催する。10名参加。重心及び医ケア児の今後の進路調整や生活介護の運営に関する意見交換を行う。 ・7月12日オンライン開催、12人参加。大津圏域の在宅移行及び医療連携に関する事例検討をする。 ・9月15日オンライン開催、10人参加。入浴支援と緊急時の対応、自宅浴槽入浴困難な方の支援の現状と課題、障害福祉サービスの現状と課題について話し合う。 ・10月6日にオンラインで開催、14名参加。各ワーキングの上半期の意見交換の内容報告、各事業所からの取り組みと課題の報告、医ケア児支援法施行と大津市における取組の意見交換をする。また、災害時対応について話し合う。 ・重症心身障害及び医療的ケア支援協議会進路調整ワーキンググループを12月8日にオ

	<p>ンラインで開催する。14名参加。進路調整ワーキンググループの集まり。大津圏域における重心及び医療的ケア児の卒業後の進路に関する調整と日中通う先の資源整備や体制整備に関して検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害及び医療的ケア支援協議会福祉ワーキンググループを12月15日にオンラインで開催する。14名参加。進路調整ワーキンググループの集まり。大津圏域における重心及び医療的ケア児の福祉サービスの利用に関する資源整備や体制整備に関して検討する。 ・2月7日に医療連携に関する検討会をオンラインで開催する。12名参加。訪問看護ステーションちょこれーと及び生活支援センターからの報告と医療連携の体制整備の意見交換をする。 ・3月2日に進路調整に関するワーキンググループをオンライン開催、11名参加。重心及び医療的ケア児の今後の進路調整と日中通う先の資源整備や体制整備に関して検討する。 ・3月16日オンライン開催する。20名参加。各ワーキングの意見交換の内容報告と、各事業所からの取り組み報告と課題について話し合う。また、医療的ケア児支援法施行と大津における取組の意見交換を行う。
<p>課題等</p>	<p>①進路調整に関するワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生リストの更新と共有 2031年度末までに61人の卒業生が予定。特に東南部に多い。 ・重心型生活介護の状況の共有。 ・大津圏域におけるさくらはうすの役割に関して。やまびこ在り方の検討の提言を受けて医療的ケアの方の受け入れに向けた体制及び環境整備と他施設へのバックアップ ・訪問型生活介護の検討。京都府綾部市の取り組み <p>②障害福祉に関するワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅浴槽で入浴が困難な方の支援の在り方に関して検討。生活介護の機械浴槽を借りたヘルプによる支援から施設入浴支援への変更に関して ・医療的ケアの方を放課後等デイサービスで受け入れる際の課題の共有 <p>③医療連携に関するワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児のアンケート結果速報値を共有して、課題を検討。災害時の支援、教育現場での支援、レスパイトケアの確保等が課題として挙がる。 ・大津圏域では在宅以降はMSWと地域の訪問看護が連携して進めることが多い。福祉側がどう入っていくか。 ・医療側の発信を大事に行きたい場にしていくことを確認。大津圏域における医療的ケア児の在宅移行・災害時・医療と福祉の連携をスムーズにするための在り方、また医療から見た福祉のあり方などを今後事例検討等しながら進めていく。・在宅生活においてヘルプや放課後等デイサービス及び日中一時支援の利用が医療ケアがあると提供事業所数が少ないため、希望通りに利用できない。 ・18歳以降の重心の方へのアンケート調査の実態と在宅の方へのアウトリーチの取り

	組み。
--	-----

⑩大津圏域高次脳機能障害連絡調整会議

報告者：松岡 啓太(自立支援協議会事務局)

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域における高次脳機能障害の支援に関する多職種連携を円滑に行うためのネットワークの形成を行う。 ・大津圏域における高次脳機能障害の方の生活及び支援に関する現状と課題の把握を行う。 ・課題解決のための支援体制や施策の在り方の検討を行う
参加者	<p>①行政機関：障害福祉課・大津保健所</p> <p>②相談支援機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害：オアシスの郷、やすらぎ、じゅふ、おおつ働き暮らし応援センター ・高齢：大津介護支援専門員協会 ・専門：高次脳機能障害支援センター <p>③サービス提供機関：まちかどプロジェクト、むれやま荘</p> <p>④医療機関：滋賀県リハビリテーションセンター、大津赤十字病院</p> <p>⑤当事者：脳外傷友の会しが</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月19日に開催する。20名参加。大津日赤とケアマネ協の事例検討を行う。また、高次脳機能障害の為に体制整備に関する近況報告をする。 ・11月18日集合とオンライン開催、28人参加。昨年度までに出ていた課題の振り返りと事例報告（介護保険事業所・障害福祉事業所から）を行う。 ・3月13日にWEB研修会を行う。60名参加。一部は講演「脳卒中を警告するサインとその後の後遺症について～症状から高次脳機能障害に気づく～」講師：滋賀県立精神医療センター医師・浅田朝彦氏。第二部は実践報告「回復期リハビリテーション病棟における障害受容への寄り添いと多職種連携」報告者：琵琶湖中央病院・社会福祉士 上嶋美由紀氏と作業療法士 日下部良英氏。最後に質疑応答を行う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者は東京都実態調査（2008）からの推計では大津市に約1302人いると思われる。 ・大津赤十字病院には高次脳機能障害専門相談支援員として認定されたNS、OT、CWの3名がネットワークをつくり、入院から退院の地域移行までの支援がスムーズに行われている。 ・日中活動の場としては、ケースの状況に応じての選択肢が他圏域と比べると多い。 ・介護保険関係者から「障害福祉の社会資源を知らない事がより繋がりにくい状況になっている」との声が上がってきている。

⑪ 北部ネットワーク協議会

大津市障害者自立支援協議会
部会長：山田 淳子（伊香立の杜）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、偶数月の第2月曜日の午前に伊香立の杜で開催 ・大津市の北部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。 ・各分野別（就労、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。 ・大津ならではの3箇所目の北部への設置及び大津市北部の重心の方の地域拠点となるホームの整備に向けた検討を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・伊香立の杜☆、障害福祉課、おおつ働き暮らし応援センター、大津市湖西側にある障害福祉サービス事業所・北大津養護学校の教員及びPTAが参加
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月19日にオンラインで開催する。28名参加。各事業所の状況報告と課題の共有を行う。また、北部の資源整備の状況確認と今後の役割について話し合う ・6月21日にオンライン開催する。24名参加。北部の資源整備の状況確認と今後の役割について話し合う。また、各事業所の現状と課題について話し合う。 ・8月23日にオンライン開催する。20名参加。 北部の資源整備の状況確認と今後の役割について話し合う。また、各事業所の現状と課題について話し合う。 ・10月18日にオンライン開催する。22名参加。北部の資源整備の状況確認と今後の役割について話し合う。また、各事業所の現状と課題について話し合う。 ・12月20日にオンラインで開催する。23名参加。北部の事業所における災害対策の状況確認と今後の在り方の意見交換。また、各事業所の現状と課題について話し合う。

⑩ 南部これから検討会

部会長：中崎 ひとみ（共生シンフォニー）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回奇数月の第1水曜日の午後にステップ広場ガルで開催 ・今年度は利用者の実態や希望を把握し、事業所のアンマッチングを防ぐために（新規開設事業者の過多防止）意見を聞くことに、重点を置く ①3障害を中心に地域生活をしている人達の意見 ②学校側（特別支援学校中心）の意見 ③保護者の意見
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市南部にある障害福祉サービス事業所・おおつ働き暮らし応援センター・障害児協会・障害児者と支える人の会、草津養護学校進路担当及びPTAが参加
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日オンライン開催、10人参加。各事業所の現状と課題について話し合う。また、施策や資源整備の情報共有を行う。 ・7月7日オンライン開催、16人参加。各事業所の現状と課題について話し合う。また、施策や資源整備の情報共有を行う。 ・9月1日オンライン開催、13人参加。各事業所の現状と課題について話し合う。また、施策や資源整備の情報共有を行う。 ・11月10日オンライン開催、10人参加。各事業所の現状と課題および、施策や資源整

大津市障害者自立支援協議会

	<p>備の情報共有を行う。また、当事者・事業者の思う事、南部地域の今、これからについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月12日集合とオンライン開催、15人参加。各事業所の現状と課題について話し合う。また、施策や資源整備の情報共有を行う。生活介護の方の進路調整の今後に関して、当事者・事業者の思うこと、南部地域の今、これからを話し合う。 ・3月2日オンライン開催（共生シンフォニー）する。18名参加。各事業所の現状と課題について話し合う。また、施策や資源整備の情報共有と、当事者や事業者の思う事、南部地域の今、これからを話し合う。
--	---

⑱ 差別解消部会

部会長：石野 富志三郎（大津市ろうあ福祉協会会長）

副部会長：中川 佑希（障害者差別のないおおつをめざす会代表）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回、奇数月に開催。 ・大津の今後の差別を解消するための体制整備の具体的検討（障害者差別解消支援地域協議会の設置の枠組みの検討等）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市ろうあ福祉協会☆、障害者差別のない大津をめざす会、大津市障害福祉課、鳩の会、視覚障害者協会、身体障害者更生会、大津市障害児者と支える人の会、ピアサポート WISH 滋賀県難病連大津支部、法テラス、生活支援センター、生活支援センターやすらぎ 大津市聴覚障害者相談員、自立支援協議会事務局
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせを4月16日に集合で開催する。5名参加。今年度の検討内容案について、及び、部会の運営方法について話し合う。 ・6月17日に集合開催する。18名参加。目指す会及び地域アドボケートの活動報告をする。また、合理的配慮事例集の作成に関してと、バリアフリーチェックの今後の取り組みに関して話し合う。 ・8月17日に開催予定であったが、コロナ感染拡大の為中止する。 ・10月27日に集合開催する。19名参加。参加者からの活動報告、また、合理的配慮事例集作成に関してと、バリアフリーチェックの今後の取り組みに関して話し合う。 ・3月8日に集合で開催する。17名参加。参加者の活動近況報告と情報提供をする。また、大津市より大津市公共施設バリアフリーチェック実施概要と改善報告。大津市差別解消地域支援協議会より事例報告（ピアライフより2例）。次年度の取り組みに関して話し合う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市では差別解消地域支援協議会を設置して、年数回協議会を開催。協議会の運営や検討内容に関して部会で検討を行う。 ・部会で大津市の障害者差別の現状と課題の共有、事例収集や広報啓発に向けた取り組みを継続して行う予定。

⑳ 当事者部会

部会長：乾澤 正和（身体障害者更生会）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期開催 ・大津市障害者福祉センターに入っている各当事者団体が集まり、障害者施策に関する各団体の意見や要望についての共有
参加者	大津市身体障害者更生会、大津市視覚障害者協会、中途失調難聴者協会大津支部、滋賀県脳卒中者友の会「淡海の会」、滋賀県難病連絡協議会大津支部、大津市障害児者と支える人の会、オストミー協会、ろうあ福祉協会、湖の子会、障害者スポーツ協会、
開催状況	開催なし。

② 人材育成部会

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域の障害福祉を担う人材の育成と質の向上のための研修の企画運営を行う。 ・「福祉」と接点のない学生に、この仕事の魅力を伝える「福祉の魅力発信プロジェクト」の企画運営
研修取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月7日おおつ合同新人研修会をオンライン開催、47名参加。第1回、対人援助とは（講師：大津市障害者自立支援協議会 坂本彩・松岡啓太） ・6月3日新人研修2回目をオンライン開催し43名参加。内容は、「大津の障害福祉その2」「おおつの就労支援とは」についての研修。 ・6月10日人権研修をオンライン開催し130名参加。内容は「性的虐待・性被害支援」に関する研修を行う。 ・6月11日オンライン開催し、相談員向けの研修会を今年度開催するための相談研修検討委員会を行う。 ・7月2日オンラインで開催し、44人参加。基本的な人権意識と障害福祉の基礎知識について（講師：中川祐希氏・染井将仁氏） ・8月5日オンライン開催し、性的虐待・性被害研修を行う。申し込み104名、動画視聴248名。また、26日にオンライン開催でおおつ合同新人研修を行う。32名参加。精神障害のある方の支援について。 ・9月8日・21日おおつ合同新人研修会をオンライン開催し、8日41名参加。第3回、知的障害のある方の支援とは（講師：坂本 彩、横川さんのお話）。21日34名参加。第4回、当事者の思いを聞く。（講師：中川・福山・原田） ・10月6日新人研修をオンライン開催し、36名参加。内容は、①親御さんのお話を聴く、②研修の振り返りをグループワークで行う。 ・11月22日性的虐待性被害研修をオンライン開催、43名参加。第3回、講師：栗本敦子氏（えふらぼ） ・12月14日に集合開催。成年後見人と相談支援専門員の合同研修。事例検討会27名参加。成年後見人の仕事の内容：動画再生回数114回、相談支援専門員の仕事の内容：動画再生回数85回。
福祉の魅力	①アンケート調査の実施

力発信取り組み状況に関して	<p>対象者：学生（「福祉」の勉強をしていない人も含める）</p> <p>知りたいこと：「福祉」の世界は彼らからどのように見えているか。どのようにアプローチしたらよいか。</p> <p>（１）アンケートの設計</p> <p>（２）予備調査：10名程度に予備調査を実施し、アンケート内容を修正</p> <p>（３）アンケートを広く実施</p> <p>（４）結果報告会を開催。大津市内の事業所に向けて結果を報告し、リクルートに役立ててもらおう。</p> <p>②学生がよく見る媒体を使つての発信</p> <p>（１）「福祉の周辺」にいる人の立場で、障害福祉事業所を取材する。</p> <p>（２）取材した内容を、なんらかのweb媒体に掲載。（例：note、Instagram、Twitter）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の立場からは、福祉職場の知りたい情報を得られる内容 ・事業所の立場からは、「なにを見られているのか？」「なにを知りたいのか？」がわかる内容 <p>（３）web媒体のリンクを自立支援協議会のHPなどに貼る。</p>
---------------	---

3. プロジェクト会議報告

①相談これから2021

代表 坂本 彩(自立支援協議会事務局アドバイザー)

部会等	<p>・毎月開催して、下記に関して検討を行い、提言書を作成予定。</p> <p>①委託相談支援事業の見直しと再編。</p> <p>②計画相談の人員の拡充とセルフプラン解消に向けた取り組み</p> <p>③計画相談の参入とバックアップのための基幹相談支援センターの設置</p>
参加者	障害福祉課、委託相談支援事業所
開催状況	<p>・4月20日にオンラインで開催する。15名参加。セルフプラン様式の検討と、今年度することを話し合う。</p> <p>・5月25日オンライン開催、14人参加。相談体制と再編について話し合う。</p> <p>・就労部会：5月27日オンライン開催、21人参加。今年度の部会運営に関して話し合う。また、アンケート結果からみる大津の就労支援事業所の印象に関しての意見交換をする。</p> <p>・6月15日オンライン開催、7名参加。大津市の相談支援事業所における機能強化事業の現状と課題について話し合う。また、他圏域の状況と大津市としての機能強化事業の今後に関して意見交換する。</p> <p>・7月20日オンライン開催、8人参加。相談体制の再編機能強化の業務について話し合う。</p> <p>・9月21日オンライン開催、8人参加。大津における機能強化事業の在り方に関する検討を行う。</p> <p>・11月16日オンライン開催、7人参加。大津市における機能強化事業の在り方に関する検討を行う。</p> <p>・1月18日オンライン開催、7人参加。大津における機能強化事業の在り方に関する検</p>

	<p>討をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月15日にオンライン開催、6人参加。モニタリング検証（案）の検討と大津市の相談支援事業所における機能強化事業の現状と課題について話し合う。また、次年度の相談支援連絡会の持ち方について話し合う。
--	---

②バックアップ（スタンダード）プロジェクト会議

代表：元藤 大幹（美輪湖の家大津）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から障害福祉サービス等の情報公開制度が創設されるのにあたり、大津圏域でも全ての障害福祉のサービス事業に関して、大津市のスタンダードとなる基準と要件を作成して、自己評価、利用者評価、第三者評価を行い、事業所の質的向上及び市民が福祉サービスを選ぶ判断材料となるものを作るべく議論することになる。2017年～2018年にかけて自己評価シートや利用者聞き取りシートの作成を行い、愛育苑、くれおカレッジ、夢の木、こだま、さくらで評価を行う。その後も散発的に会議を行うが、議論は進まず数年が経過。スタンダードを作ることも事業所間のバックアップが大事ではないとかという話しになり、方針転換を行い、バックアッププロジェクトと名称を変更。大津市内の通所やホーム等の事業所の相互評価や連携強化、新規参入事業所のバックアップを体系的に行うこととし、今年度いっぱいモデル事業を取り組み、提言等を作成して終了させる方向。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局 大津市障害者自立支援協議会：松岡 O.S.K.：西川氏 ・共生シンフォニー、美輪湖の家大津、多機能事業所さくら、オフィスコシキ、障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月21日にオンラインで開催10人参加 ・12月22日に集合で開催する。6名参加。バックアッププロジェクトを取り巻く大津の状況確認と、既存事業所へのアプローチについて話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市内の通所やホーム等の事業所の相互評価や連携強化、新規参入事業所のバックアップを体系的に行う。

③性的虐待・性被害に関するプロジェクト

代表：坂本 彩（自立支援協議会事務局アドバイザー）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・数か月に1回開催。 ・大津市内での障害当事者の性的虐待・性被害に関して、支援者向けの研修及び相談をできる体制づくりを目指す
参加者	<p>ワークショップ坂本、大津市障害者虐待防止センター 公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター、相談支援事業所ひなた 夢の木、ステップ広場ガル、障害福祉課</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6月3日に集合で開催、10名参加。参加者が感じる課題を出し合い、事前の予防とケアについて意見交換を行う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は人材育成部会の研修に統合。

④移動支援プロジェクト

代表：染井 将仁（地域生活サポートセンターじゅふ）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回程度開催。 ・大津市の移動支援の在り方に関して見直しを行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ①相談支援事業所：じゅふ、いるか、生活支援センター ②移動支援事業所：かがやき（ヘルプ協代表）、明日香の里、福祉会ヘルプ、スマイルケア、サポート楽 ③障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月6日オンライン開催、11名参加。7月からの移動支援見直しの進捗状況等に関する確認と検討課題の意見交換を行う。 ・9月14日オンライン開催、7名参加。障害福祉課より報告。その後の各事業所の現状と意見交換を行う。 ・1月17日オンライン開催、10名参加。障害福祉課より7月からの移動支援見直しの進捗状況等に関する確認と各事業所より報告と意見交換をする。また、今後のプロジェクトの進め方に関して話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> *2021年夏を目指して以下の点に関して見直しを行う。 ・利用対象者の拡大 ・外出時における居宅介護の身体介護の在り方の再検討。 ・移動支援における車両利用の在り方の見直し ・移動支援の支給量に関して一律から個別ニーズに応じた決定への変更 ・利用者負担の見直し

⑥日中一時支援プロジェクト

代表 越野 みどり（障がい児相談センターみゆう）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回開催予定。 ・大津市の日中一時支援の今後に関して検討を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ①相談支援事業所：相談支援事業所みゆう（プロジェクトリーダー） ②日中一時事業所：あんど、おおつ福祉会、Brah-art、藤樹会、明日香の里、ベスティ、クオケア ③行政：障害福祉課 ④協議会事務局
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6月16日にオンライン開催する。11名参加。各事業所の近況報告をする。また、今年度の委員会の在り方の検討を行う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市における多様なニーズに対応する日中一時支援の在り方の確認とそれに対応する制度の確立 ・手厚い支援を必要とする方の利用がより進むための事業所への加算の創設 ・当事者向けおよび事業所向けの日中一時支援ガイドブックの作成、質の担保に向けた取り組み

⑦訪問型生活介護プロジェクト

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

大津市障害者自立支援協議会

部会等	・京都府の綾部市では、地域生活支援事業の中に訪問型生活介護事業を設置して、心身の障害の為に日中における通所サービスの利用が困難な方に対して日中活動の機会を生活介護事業所の職員を派遣して行う取り組みを実施。そこで、大津市においても訪問型生活介護事業実施の検討ができないかひまわりはうすにてモデル事業を展開する中で、大津市における訪問型生活介護事業の在り方や制度化の検討する。
参加者	①相談支援事業所：生活支援センター ②生活介護事業所：ひまわりはうす、おおぎの里（日中支援部会部会長） ③行政：障害福祉課 ④教育：市内の特別支援学校 ⑤オブザーバー：大津市発達障害者支援センターかほん ⑥協議会事務局
開催状況	・1月17日オンライン開催、7人参加。プロジェクトの目的及び通所事業所利用困難なケースの実態調査の結果の共有と今後の進め方の検討を行う。 ・3月24日オンライン開催、8名参加。プロジェクト会議の目的、プロジェクト立ち上げの背景、ひまわりはうすでの現在検討している取組み内容について話し合う。また、実態調査の共有を行う。
検討課題等	・大津市における訪問型生活介護事業の実施に向けた制度化 ・ひまわりはうすの訪問型生活介護の取り組みに関する評価 ・訪問型生活介護から次の通所施設の利用に向けた検討

⑧地域生活支援拠点多機能プロジェクト

代表 木村 和弘(ステップ広場ガル)

部会等	①多機能型地域生活拠点のあり方 住まいの場検討会の提言を踏まえ、「どのようなニーズ」に「どの機能で対応」するか具体的に検討する。 ②発信・共有 検討の経過や情報を発信・共有し、障害のある方、ご家族、障害の障害福祉関係者が多機能型の必要性を感じ、大津圏域共有の財産となる事を目指して共に歩めるように取り組んでいく。
参加者	障害福祉課（大浦、辻） しが夢翔会（木村） かほん（小崎） 伊香立の杜（山田・欠） みゅう（越野） 自立支援協議会事務局（松岡、坂本）
開催状況	・6月16日にオンライン開催する。11名参加。各事業所の近況報告をする。また、今年度の委員会の在り方の検討を行う。
検討課題等	次年度は地域生活支援拠点知的分野の会議に統合する。

⑨文化プロジェクト

代表 小石 哲也(まちかどプロジェクト)

部会等	・普段スポットライトの当たらない方も含めて表現活動をしている障害当事者の方
-----	---------------------------------------

	<p>の発表の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業所を超えての表現活動の取り組み ・地域のイベント等の開かれた集まりに参画する、または障害あるなしにかかわらずの一緒に取り組む形を目指す
参加者	<p>まちかどプロジェクト、OSK、オフィスゆうき、BRAH=art. (ブラフアート/特定非営利活動法人)</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6月4日、7月12日とコアメンバーで2回企画案の検討を行う。 ・11月25日オンライン開催する。8名参加。前回会議の確認と参加者より現状報告をする。また、今後の取り組みの進め方の意見交換を行う。 ・1月7日に3月のランチ大津京でのイベントに関して打ち合わせを行う。 ・2月8日にオンライン開催。4名参加。3月に開催されるSGパークの企画と今後の企画に関する話し合いをする。 ・3月1日にオンライン開催、6名参加。3/26開催の大津京マルシェについてと、次年度の取り組みについて話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるなしで線引きしないシームレスな表現活動のフェスティバルの開催。プロもアマチュアも参画しながらワイワイ楽しく集まる場を作る。 ・障害当事者が文化にアクセスして楽しむことできるような取り組み。文化に直接触れることを求める人もあれば、文化を見るだけでの人も当然いる。それぞれの人のニーズに合わせての参画ができるような取り組みにしていく。 ・短期的には今ある地域の既存のイベントに事業所や障害者団体も参画してコラボを積み重ねながら、長期的にはプロジェクト発信でのイベントの開催を目指す

⑩高齢障害者プロジェクト

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年8月から開始予定。 ・2つのワーキングに分けて2か月に1回の開催で約1年～2年を予定。2021年度中に研修会を開催。 ①大津圏域の障害福祉のサービス提供事業所における高齢障害者の支援に必要な視点やスキルの獲得 ②大津圏域の障害福祉サービス事業所における高齢障害者の実態調査と課題整理 ③高齢障害者が地域で安心して暮らすためのシステムやネットワークの構築
参加者	<p>真野の家歩歩、障害福祉課、長寿政策課、じゅぷ、ブリッジ、オアシスの郷、みゅう、大津市介護支援専門員協会、しが夢翔会ホーム支援課、生活支援センター</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月6日にオンライン開催する。13名参加。前回の振り返りとアンケート結果の共有を行う。また、プロジェクトの進め方について話し合う。 ・9月22日にオンライン開催。11人参加。事例検討（しが夢翔会事例提供）をする。「障害者支援の視点」と「高齢者支援の視点」 ・10月8日にオンライン開催。13名参加。高齢障害者・聴覚障害の方のアンケートの分析結果の報告を行う。また、介護保険移行の事例検討を行う。

大津市障害者自立支援協議会

	<ul style="list-style-type: none"> ・11月4日にオンライン開催。14人参加。情勢報告とニーズ調査課題の報告をする。また、事例検討（おおつ福祉会事例提供）をする。 ・12月9日に集合とオンラインで開催する。16名参加。大津圏域の障害福祉のサービス提供事業所における高齢者障害の支援に必要な視点やスキルの獲得について話し合う。また、大津圏域の障害福祉サービス事業所における高齢障害者の実態調査と課題整理、高齢障害者が地域で安心して暮らすためのシステムやネットワークの構築について話し合う。おおつ福祉会のケースの報告を行う。 ・2月4日に介護保険との連携ワーキングをオンラインで開催する。12名参加。ひびき、大津市介護支援専門員協会ケースの事例検討を行う。また、2月24日にオンラインで開催する。12名参加。おおつ福祉会のケース報告とその後の経過について報告する。また、高齢化に気づけるチェックリストについてと今後について話し合う。
検討課題等	<p>①介護保険事業所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の移行や利用が円滑に進むための仕組みづくり ・障害支援や障害福祉に関するケアマネの理解、介護保険に関する障害分野の理解を促進するための研修会の開催 <p>②障害福祉現場での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者から高齢障害の支援で現場困っているケースの事例報告をしてもらい、課題解決に向けた事例検討を行う。その際に専門職にも入ってもらい助言をもらう。 ・高齢障害者の支援に関する障害福祉現場の底上げのための研修会の開催

4. 各種運営委員会報告

①自立生活支援ホーム運営委員会

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局アドバイザー）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回程度開催 ・大津市にある自立生活支援ホーム「桜野ホーム」、「第2桜野ホーム」の入居者の支援状況の確認と今後の入居希望者の状況に関して共有と入居調整を行う
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・自立生活支援ホーム担当者、障害福祉課、ひびき、生活支援センター、おおつ働き・暮らし応援センター、ひなた、大津市社会福祉協議会
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月17日オンライン開催、10人参加。卒業生の状況と現入居者の状況について報告する。また、今後のことについて話し合う。 ・7月19日オンライン開催、11人参加。卒業生の状況は無し。現入居者の状況について報告する。また、今後のことについて話し合う。 9月27日オンライン開催、7人参加。卒業生の状況と現入居者の状況について報告する。また、今後のことについて話し合う。 ・11月15日オンライン開催、12人参加。卒業生の状況と現入居の状況について報告と、新入居者の検討を行う。また、今後のことについて話し合う。 ・1月17日オンライン開催、10人参加。卒業生の状況と現入居者の状況について報告する。また、新入居者の検討。 ・3月14日オンライン開催、11名参加。卒業生の状況と現入居者の状況について報告

	する。また、順書についての確認をする。情勢・施策・情報提供をする
課題等	・信楽通勤寮廃止後、就職しながら一人暮らしを目指す知的障害の方のための訓練施設として県内に3か所設置されたが、湖東圏域は事業休止で、大津と甲賀で県と市の補助を受けて運営している。しかし、近年は虐待ケースや社会的養護の児童の18歳以降の受け止め先としての役割が大きくなっている。

②児童・障害・母子支援連携検討会

坂本 彩（自立支援協議会事務局アドバイザー）

部会等	・被虐待及び児童養護施設を退所された後の障害児の18歳以降の支援に関する検討会を児童福祉の関係者も招いて開催予定。
参加者	・相談支援（やまびこ、ひびき、オアシス、ひなた）、はっち、大津市虐待防止センター、市内児童養護施設（小鳩の家、湘南学園）、自立生活支援ホーム、北大津養護学校、大津ファミリーホーム、障害福祉課、ほわいとクラブ
開催状況	・5月17日開催予定をしていたが、コロナ感染症拡大の為中止。 ・11月15日集合開催、14人参加。自立支援ホーム入居者で仕事に行けなくなってきている被虐待者のケースを検討する。 ・1月17日（中止）

③居住サポート事業事務局会議

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・不定期開催 ・居住サポート事業の実績報告と支援状況の確認、課題の検討を行う。
参加者	・障害福祉課、大津保健所、オアシスの郷、やすらぎ
開催状況	・2月25日にオンラインで開催する。4名参加。今後の事業の在り方に関して協議を行う。

④住まいの場のとりまとめ会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	①自立支援協議会でホーム開所の情報を発信する。（相談支援へのメールやHP） ②とりまとめ会の待機者リストの中でホーム側の希望とあうちょうどあう方がいたら紹介する。 ③定員より申し込みが多いときはとりまとめ会を開催して協議を実施。 ④ホーム側で利用者を探していただくことに制限はかけてない。直接やり取りも可とする。 ⑤ホーム入居希望者を相談支援事業所が把握したら協議会の待機者リストに登録して、利用ニーズの把握を協議会として行う。
開催状況	・1月7日にらぼーる瀬田ホーム入居調整会議を開催。
現状	・待機者は大津市の住まいの場の取りまとめ会の希望者は2021年12月末時点で待機者242人。ガル・伊香立の24時間支援の希望者が49、重症心身障害タイプのホーム希望者が24人、1年以内に探している方が109人。そのうち行動障害呈する方が13人

④ JJP (じぶん銀行じぶん支店プロジェクト)

報告者：坂本彩 (自立支援協議会事務局)

部会等	お金にまつわる課題を当事者と一緒に学んでいく研修企画等を考える。現在「わたし・暮らし デザイン Lab」という企画にして、生活の知恵を学ぶ取り組みを検討。具体的には「便利家電塾」「せつやく料理塾」「かんたん料理塾」「おしゃれ服ガイド」「お金の使い方セミナー」「大人×遊び」等。
参加者	働き暮らし応援センター、 オフィスゆうき、 ひまわりはうす 大津市社会福祉協議会、 Brah=art.、セレンディップ、虐待防止センター、事務局、当事者
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・8月18日に開催予定であったが、コロナ感染拡大の為中止する。 ・10月20日に集合で開催する。4名参加。自己紹介、集合型グループワーク実施について、どのような条件なら集合研修ができるかを話し合う。また、間取り図に家電を置く実験を試みる。 ・12月15日に集合で開催する。6名参加。自己紹介、研修企画を考える。